

「横浜環状南線の設計・用地説明の開催等について」

- 記者発表資料 -

横浜環状南線は、横浜市金沢区釜利谷町<sup>かまりや</sup>から同市戸塚区汲沢町<sup>くみざわ</sup>までの延長約9 kmの自動車専用道路であり、横浜市中心部への交通の集中を緩和、郊外間の連絡を強化することを目的に計画されている横浜環状道路の一部で、平成7年4月21日に都市計画決定されました。また、首都圏中央連絡自動車道にも位置付けられています。

現在、横浜市栄区飯島町から同市戸塚区汲沢町までを国土交通省が、横浜市金沢区釜利谷町から同市栄区飯島町までを日本道路公団が担当し事業を実施しております。

このたび、次の区間について設計がまとまりましたので、地元関係者(地権者等)の方々に道路の設計内容や用地の補償の考え方などをご説明いたしますのでお知らせします。

また、あわせて都市計画道路上郷公田線の整備に関する考え方などについてご説明します。

説明対象区間 【横浜環状南線】担当：日本道路公団  
神戸橋交差点付近から桂台第四公園付近まで(約1.7 km)  
【都市計画道路上郷公田線】担当：横浜市  
神戸橋交差点から桂台第四公園付近(桂台西二丁目付近交差点)まで(約1.5 km)

開催日時 平成16年3月24日(水)午後7時から9時まで

開催場所 栄区矢沢小学校・体育館(横浜市栄区桂台南2-34-1)

その他

今回説明を行う区間については、次のとおり「相談コーナー」を開設いたします。

平成16年3月26日(金)・28日(日)・29日(月) 午前10時~正午、  
午後1時~3時に桂台地域ケアプラザ2階多目的ホール(栄区桂台中4-5)で  
開設

今後の予定としては、設計内容についてご理解を得つつ、用地の幅杭設置及び用地測量を進めていきたいと考えています。また、その他の地域の設計・用地説明については、設計がまとまった区間から、順次実施する予定です。

平成16年2月24日

日本道路公団横浜工事事務所

横浜市道路局横浜環状道路調整部

お問い合わせ先

日本道路公団 横浜工事事務所

工務課長 村田 啓

電話 045-352-3771(代表)

横浜市道路局横浜環状道路調整部

事業調整課 横浜環状道路担当課長 古山 諭

電話 045-671-3985

対象区間位置図



※JCT(ジャンクション)・IC(インターチェンジ)・換気所などの名称は仮称です。

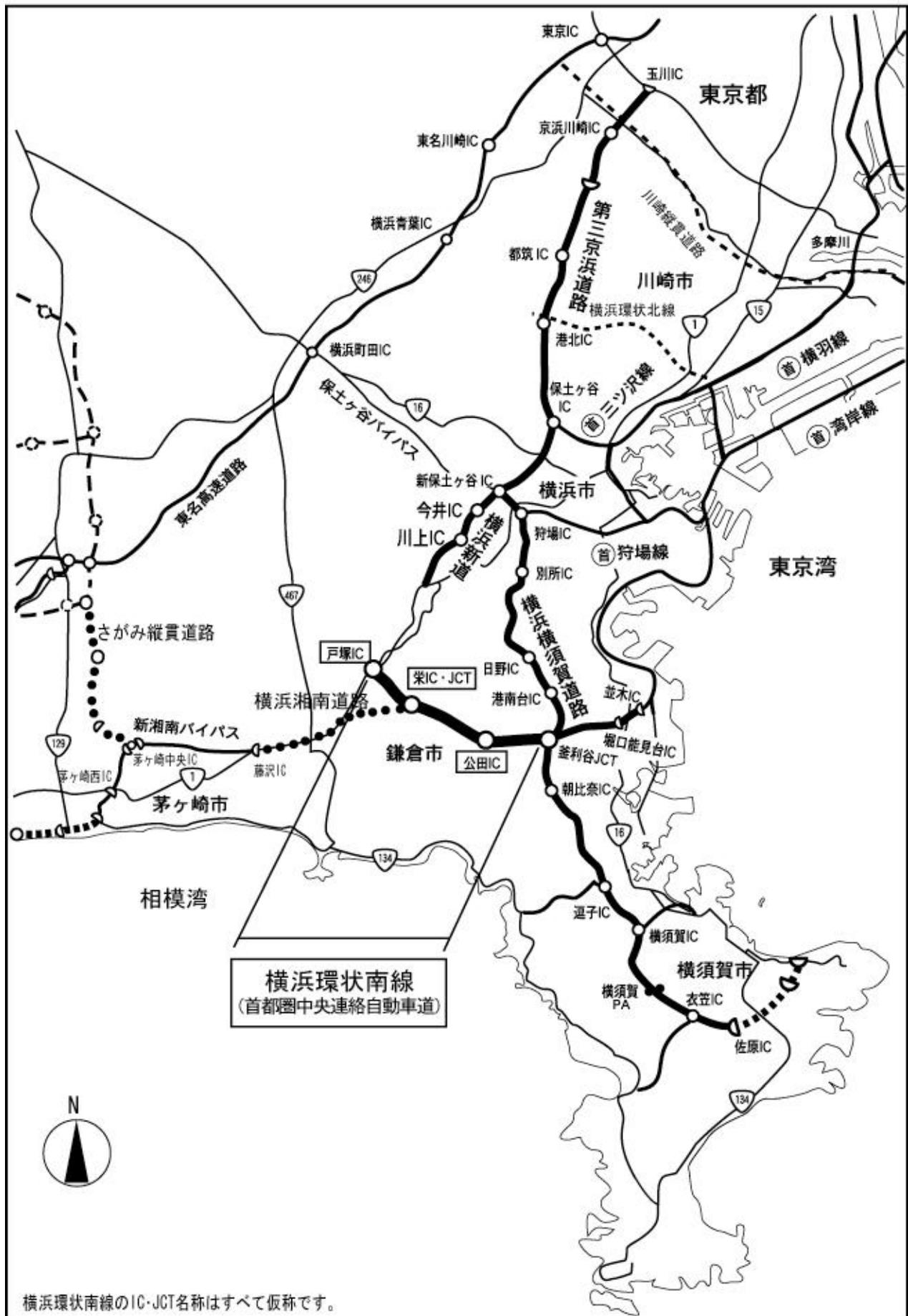


及び工事等を促進してまいります。

## 2. 主な経緯

昭和63年度	建設省事業化（日本道路公団：事業採択）
平成7年4月	都市計画決定
平成7年度～	測量・地質調査着手
平成8年度～	用地買収着手（用地買取り請求対応）
平成11年11月	設計用地説明 （横浜市金沢区釜利谷町（釜利谷ジャンクション付近）、 鎌倉市岩瀬、栄区笠間町付近）
平成12年3月	起工式
平成12年3月	工事着手 （横浜市金沢区釜利谷町（釜利谷ジャンクション内）、 鎌倉市岩瀬）
平成12年4月	有料道路事業許可
平成12年11月	設計用地説明 （横浜市栄区：いたち川（小菅ヶ谷2丁目） ～豊田高校付近（飯島町））
平成13年11月	設計用地説明 （横浜市栄区公田町付近）
平成14年11月	設計用地説明 （横浜市栄区飯島～田谷地区）
平成16年3月	設計用地説明（予定） （横浜市栄区上郷町～桂台西二丁目付近）

# 横浜環状南線(首都圏中央連絡自動車道)位置図



と し けい かく どう ろ かみ ごう く でん せん  
都 市 計 画 道 路 上 郷 公 田 線



- (路線名) 都市計画道路上郷公田線  
(区 間) 栄区上郷町(環状4号線神戸橋交差点)～栄区公田町(環状4号線桂町交差点)  
(延 長) 約3.2km  
(構造規格) 第4種第1級、第4種第2級  
(設計速度) 50km/h(環状4号線神戸橋交差点～公田IC付近)～60km/h(公田IC付近～環状4号線桂町交差点)  
(標準幅員) 32m  
(車線数) 2車線(環状4号線神戸橋交差点～公田IC付近)～4車線(公田IC付近～環状4号線桂町交差点)

#### 事業概要

都市計画道路上郷公田線は、栄区上郷町から公田町に至る路線であるとともに、横浜環状南線(首都圏中央連絡自動車道)と公田インターチェンジで連絡する道路として、平成7年4月に都市計画決定されています。

栄区内の主要な幹線道路である環状4号線は、現在2車線道路であることから、慢性的な渋滞路線となっていますが、上郷公田線が整備されると、環状4号線の交通の一部や住宅地域内を通過する交通が転換され、周辺道路の渋滞緩和が期待されます。

また、自転車利用者と歩行者が安全に通行できる幅員の自転車歩行者道が設置され、通勤、通学などの交通安全性の向上や駅までのアクセスの向上などが期待されます。